

令和4年度

市政運営方針

和泉市長 辻 宏 康

令和4年度 市政運営方針

《 はじめに 》

本日、令和4年和泉市議会第1回定例会開催にあたり、市政運営の基本方針と主要施策の大綱につきまして、私の所信の一端を申し述べ、議員並びに市民皆様のご理解とご協力をお願いする次第でございます。

昨年6月の市長選挙におきまして、市民の皆様から力強い激励と温かいご支援をいただき、4期目の任期をスタートさせることができました。改めて感謝を申し上げるとともに、皆様のご期待に応えることができるよう、全力を尽くすこととお誓い申し上げます。

さて、今年の干支は、「壬寅（みずのえとら）」です。「壬」は土の中で芽が膨らみぐんと盛り上がっている様を、「寅」は強く大きく成長する様を表しており、厳しい冬を乗り越え、華々しく生まれ変わる1年であることを示唆しています。日本全体として、このコロナ禍を乗り越え、新たな成長が期待されるところですが、本市におきましても、令和4年度にグランドオープンを迎えるこの新庁舎を成長のシンボルとし、市制施行100周年の華々しい未来に向け、新

たな成長を芽吹かせることができるよう、行政運営に取り組んでまいります。

私が市長に就任して以来、「まちづくり」、「財政健全化」、「組織・人づくり」を行政運営の三本柱に位置づけ、様々な改革に取り組み、一定の成果を得たと手応えを感じているところですが、このコロナ禍を乗り越え、さらなる成長を遂げるために、令和4年度は、新たな2つの改革に取り組むたいと考えております。

まず、1点目が、市政運営の原動力となる職員の資質・能力の向上を図る『人事制度改革』です。戦国武将の武田信玄が「人は城、人は石垣、人は堀」と例えたように、人材こそが組織の要であり、政策を実現する「力」になります。これまで、病院への指定管理者制度の導入や施設一体型義務教育学校の整備など、他団体の優良・先進事例を改良して積極的に取り入れることで、着実に成果を上げてきました。しかし、全国的な人口減少社会を迎え、各自治体に移住・定住促進策に取り組むなど、自治体間の競争も激しくなっている中、本市が多くの人から「選ばれるまち」になるには、日本のトップランナーになる施策を打ち出していくような挑戦も必要です。そのような気概を持った職員を育成するため、これまで推し進めて

きた人事制度改革の集大成として、「頑張る職員が報われる人事給与制度」の構築に取り組みます。

そして、2点目が、市制施行100周年の未来において、社会を支える主役となる子どもたちを育成するための『教育改革』です。教育大綱に「知・徳・体を備えた社会に貢献する人材の泉」と掲げるように、和泉市にとどまらず、世界に羽ばたく人材を育成するため、また、子育て世帯に「選ばれるまち」となるため、「知・徳・体」の「知」いわゆる学力向上に重点を置いた改革に取り組みます。

令和4年度は、人事制度や教育に関する外部有識者を交えた議論を行い、多角的な視点で課題を掘り起こすとともに、大胆な発想やアイデアを積極的に取り入れ、和泉市版の『人事制度改革』・『教育改革』を進めてまいります。

《 新型コロナウイルス感染症対策 》

コロナ禍の中で、4期目のスタートを切り、「命と暮らしを守り未来を拓く」を合言葉に、令和3年度は、とりわけ新型コロナウイルス感染症への対応に力を注いでまいりました。まず、ワクチン接種については、昨年4月に接種を開始してからこれまでの間、地域

の医療従事者の皆様のご協力のもと、医療機関での個別接種と市役所等での集団接種を実施し、12歳以上の市民における1月末時点の接種率は86%となりました。ワクチン接種が進み、感染の拡大が抑制されたことで、市内各地でも少しずつ行事や催しが行われ、市民皆様の笑顔や活力が戻りつつあることを大変うれしく感じていたところです。しかしながら、先般発生した新たな変異株により、再び感染拡大の危機に直面し、感染拡大を食い止める上で重要な局面を迎えております。現在、3回目のワクチン接種を開始しているほか、5歳から11歳の子どもの接種に向けた準備を進めているところですが、市として、しっかりと接種体制を構築してまいりますので、ワクチンの効果と副反応などについて正しくご理解いただき、接種についてご検討いただくよう、お願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症により生活に影響を受けた市民への支援や感染症対策として、お買い物割引チケット事業（第2弾）や電子図書館の充実、自宅療養者等と同居する家族に対する宿泊補助、学校園でのPCR検査の実施など、スピード感を持って取り組んでまいりました。令和4年度においても、お買い物割引チケット事業（第3弾）を実施し、マイナンバーカード所有者への加算を行

うことで最大5,000円の割引チケットを配布します。その他、学校園でのPCR検査を継続して実施するなど、切れ目のない支援と対策に取り組み、今後も、感染症の状況をしっかりと見極めつつ、市民皆様の声に耳を傾けながら、きめ細かな対応を行ってまいります。

《 コロナを乗り越え、未来を見据えたまちづくり 》

これまで本市は、大阪都心部へのアクセスの良さを背景とした大型開発により発展してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたテレワークの普及により、住む場所を選ぶ基準が「交通アクセスの利便性」から「居住環境の良さ」へと変化することが予想されます。しかし、このような変化は、決して優位性を失うものではなく、むしろ、先人たちがこれまで大事に紡いできた豊かな歴史や文化、自然など多くの魅力を有する本市にとっては、チャンスだととらえることもできます。

まずは、市民が安心して生活できる環境の整備に全力を注ぎつつ、市制施行100周年を見据えて魅力あるまちづくりを進め、本市が将来にわたって発展していくため、4期目の市長公約で掲げた各種

施策を「和泉創発プラン」に盛り込むなどの改訂に取り組みます。
そして、より市民に近いサービスに重点を置いた施策の展開や、誰もが自分らしく生き、活躍できる環境づくりを進めるとともに、地域の歴史・文化や実情を踏まえたまちづくりを進め、「トカイナカ」和泉市の魅力をさらに深化させてまいります。

一方で、将来を見据えたときに、目を背けることができない課題が公共施設の老朽化への対応です。現在、小中学校の適正配置や富秋中学校区等まちづくり構想の推進、北西部地域における公共施設の再編などに取り組んでおりますが、持続可能なまちづくりに向けて、市全体の公共施設のあり方を示す「公共施設等総合管理計画」の改訂に取り組みます。

そして、新しい時代に対応した行政運営を行うためのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進です。本市における施策展開の指針となる「和泉市DX推進ビジョン」を策定し、行政手続きのオンライン化の拡大に取り組むとともに、証明書交付手数料の窓口払いや市税・保険料の納付について、スマートフォンを利用したキャッシュレス決済を導入するなど、市民の利便性向上と業務効率化に向けた取り組みを進めます。

《 命と暮らしを守り未来を拓く 3つのテーマ 》

それでは、次に、昨年の所信表明の際に申し上げた3つのテーマ

1. 市民の命と暮らしを守るまちづくり
2. 子どもたちの未来が輝く子育て・教育のまちづくり
3. にぎわいがあふれ活力のあるまちづくり

に沿って、取り組むまちづくりについて、ご説明を申し上げます。

【1. 市民の命と暮らしを守るまちづくり】

市民の命と暮らしを守るために、感染症対策を推進することはもちろん、忘れてならないのが自然災害への備えです。近年、多発している集中豪雨や近い将来発生することが危惧されている大規模地震など、自然災害はいつ発生してもおかしくありません。

本年3月末には、「和泉市地域防災計画」を改訂し、過去の災害で得た教訓や感染症対策の観点を取り入れた防災対策を推進していく予定ですが、感染症や自然災害に対する総合的な管理体制の更なる強化を図るため、危機管理に特化した組織として「危機管理部」を設置します。

そして、危機管理に関する情報の一元化や災害対応の迅速化、有

事における消防部局との連携強化に取り組むとともに、浸水想定区域を見直し、最新の災害や避難情報等を反映した「防災ガイドマップ」を全戸配布するほか、風水害時の防災行動を時系列で整理した「地域版タイムライン」について、自主防災組織等を対象に作成支援に取り組むなど、市民皆様の安全・安心な暮らしを守るまちづくりを推進してまいります。

また、効率的で効果的な消防体制を構築するため、災害活動拠点となる消防庁舎の移転整備工事に着手し、堺市との消防通信指令業務の共同運用に向けた取り組みを検討します。

【2. 子どもたちの未来が輝く子育て・教育のまちづくり】

私が、市制施行100周年の未来を想うとき、想像する風景は、この和泉市で、子どもたちが無邪気に笑い、そしてその家族や周りの人たちが子どもたちをやさしく見守る姿です。将来、今の子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちが、和泉市を支える存在になり、そして次の世代につないで発展していく、そのようなまちを実現するため、誰一人取り残さず、全ての子どもたちの可能性を伸ばすことができる「子育て・教育のまちづくり」を推進してまいります。

まず、子育て支援については、待機児童の解消や保育サービスの充実を図るため、民間保育園等の整備を支援するとともに、保育士確保策として保育士就労支援補助制度を創設します。また、子育て家庭の身近な相談窓口として専門職を配置した「子ども家庭総合支援拠点」を開設し、障がいや貧困、ヤングケアラーなど様々な課題を抱える子どもやその家族の支援を強化します。

次に、教育施策として、義務教育9年間を通して、個性や能力の一層の伸長を図ることができる新たな施設一体型義務教育学校の整備を進めます。南部地域では、令和7年度の開校に向けて、(仮称)槇尾学園の実施設計に取り組み、北部地域の富秋中学校区では、令和9年度の開校に向けて、新校舎整備の事業者選定に取り組みます。また、教員の働き方改革と児童生徒の学力向上を図るため、テストの採点・分析システムの導入やスクールサポートスタッフの充実に取り組むほか、中学1年生を対象として、基礎的な読解力を測定するリーディングスキルテストを導入し、結果検証をもとにした授業改善に取り組みます。さらに、学生等に自学自習の機会を提供するため、公共施設の一部を自習室として開放し、オンラインで空き状況の確認や予約ができるシステムを導入します。

【3. にぎわいがあふれ活力のあるまちづくり】

令和4年度は、これまで着実に進めてきた新庁舎整備が立体駐車場の整備や3号館の改修完了をもって終結し、来年1月にグランドオープンする予定です。また、農産物直売所を拡大し、レストラン、大型遊具を備えた「道の駅いずみ山愛の里」が4月にリニューアルオープンするほか、新たな農林産物の産地化や農林業の技術力向上、担い手育成など農林業の推進拠点となる「和泉市アグリセンター」が7月にオープンし、和泉府中駅周辺で初となるホテルが10月に開業するなど、本市の成長を支える基盤が整備されます。今後も、これまでの取り組みをしっかりと成果につなげるとともに、新たなにぎわい創出に資する未来への投資と市民の活力を創出する施策の推進に取り組んでまいります。

未来に資する取り組みとしましては、本市の北の玄関口となる北信太駅について、地域拠点にふさわしい魅力ある駅前空間をめざし、駅西側広場の設計や自由通路の整備に取り組むなど、事業を着実に進めます。また、本市が全国に誇る歴史・文化拠点である池上曽根史跡公園を整備し、幅広い人に愛される新たな交流拠点とするため、グラウンドゴルフやフットサル、スケートボードなどを楽しめる（仮

称) 池上プレイステージの設計に取り組みます。そして、特に人口減少が激しい南部地域においては、「(仮称) 和泉市南部地域等まちづくり計画」を策定し、大阪外環状線沿道における産業誘致や良好な景観形成を推進するとともに、中学生以下の子ども2人を含む家族が移住した場合に、最大150万円を助成する移住者支援制度を創設し、地域への移住・定住を促進します。

次に、市民の活力を創出する取り組みとして、市内の身近なところでランニングやウォーキングが楽しめるコースを10か所設置し、市民の健康・体力づくりを推進します。また、高齢者や障がい者など誰もが活躍できるまちをめざして、障がい者に対するきめ細かな就労支援を行う「障がい者就労支援センター」の設置に向けて取り組むほか、高齢者の積極的な社会参加を推進するため、「高齢者おでかけ支援事業」の助成額を1人あたり3,000円に拡充します。

《 令和4年度に取り組む主要な事業 》

次に、令和4年度に取り組むその他の主要な事業について、新たな事業や拡充した事業を中心に、『第5次和泉市総合計画』の体系に沿って、順次ご説明いたします。

1. 定住の促進

(「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり)

- 安心して出産を迎えることができるよう、妊娠期の相談支援体制の強化に向けて社会福祉士等を配置するとともに、経済的理由により妊娠判定を受診しない妊婦を対象に判定費用を補助します。
- ひとり親家庭への支援として、子どもの成長に必要な養育費の履行を確保するための公正証書作成費用等を補助します。
- 業務効率化を図り、質の高い保育を提供するため、登園記録の管理や保護者と情報共有を行う保育業務管理システムを導入します。

(社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実)

- 小学校における英語教育の充実を図るため、外国語指導助手（ALT）を全ての外国語授業に配置します。
- 民間の屋内プールを活用した水泳授業の導入に向けて、課題や効果を検証するため、モデル実施校を拡大します。
- 子どもたちが安全・安心に過ごせる環境づくりを支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活動時間を拡充します。

○子育て世帯の増加や小学校35人学級化に対応するため、南松尾はつが野学園の増築に向けた設計を行います。

(一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援)

○生涯学習及びスポーツを取り巻く環境の変化に対応し、計画的に施策を推進するため、「第3次和泉市生涯学習推進プラン・第2次和泉市スポーツ推進基本計画」を策定します。

○青少年の家の活性化を図るため、令和7年度のリニューアルオープンに向けた改修計画を策定します。

○久保惣記念美術館開館40周年を記念し、翡翠勾玉等の工芸品をテーマとした特別展「玉石の美」や現代美術をテーマとした特別企画「ダイアログ かたちのちから」を開催します。

○美術館の景観保全と適切な保存・活用を図るため、国の登録有形文化財である茶室の耐震補強工事に着手します。

(健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進)

○信太山クロスカントリー大会の70周年を記念し、ゲストを招待するほか新コースを設置するなど、誰もが楽しめる大会にします。

(外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備)

- 地域の特性に調和した良好な景観まちづくりを推進するため、「和泉市景観計画」の策定に着手します。
- 慢性的な渋滞が課題となっているあゆみ野三丁目南交差点及び万町北交差点において、交差点改良工事を行います。
- 和泉中央線の国道480号から観音寺町の区間で課題となっている交通渋滞について、分析や検討を行い、対策案を作成します。
- 市民や企業と協働して緑豊かなまちづくりを推進するとともに、公共施設の緑化に取り組みます。

(環境に配慮した快適なライフスタイルの確立)

- 地域特性を活かした脱炭素社会を実現するため、再生可能エネルギーの利用拡大と地域経済の活性化をめざす実効性の高いロードマップを作成します。
- 庁舎駐車場に市民向けの電気自動車充電スタンドを設置するとともに、公用車の更新計画に沿って、電動車を導入します。
- 環境負荷の低減を図るため、バイオマスポリエチレンを25%以上配合した家庭系日常ごみ指定袋を導入します。

- 信太山丘陵里山自然公園を活用した環境学習を推進するため、環境教育に関する方針を策定するとともに、拠点施設を整備します。

2. にぎわいの促進

(活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出)

- 空き店舗を活用した創業を支援する「創業支援制度」を拡充し、居宅の改装費や商店街以外の店舗賃借料等を助成対象とします。
- 就職氷河期世代の就職や正社員化を支援するため、企業開拓や就職支援講座の開催、職場実習など、職場定着までの切れ目ない就労支援に取り組みます。

(新旧の魅力が融合する観光の振興)

- インバウンドを含んだ交流人口の拡大を図るため、いずみの国観光おもてなし処を魅力的な空間としてリニューアルするほか、デジタル技術を活用した多言語対応を充実します。
- 和泉・久保惣ミュージアムタウンエリアにおいて、古民家を活用したクリエイターの活動拠点施設をオープンし、賑わいの創出を図ります。

3. 安全・安心の促進

(住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり)

○市立総合医療センターにおいて、地域医療支援病院としての役割を果たせるよう検査機器等を購入するとともに、地域医療機関等との連携強化を図ります。

○子宮頸がんの発症予防のため、子宮頸がんワクチンの積極的な勧奨を再開するとともに、接種機会を逃した市民に対する追加接種を行います。

○町会・自治会が管理している防犯カメラを市の管理に移管することで、設置箇所の適正化や適切な維持管理を図るとともに、地域の負担軽減を図ります。

(災害に備える仕組みづくり)

○地域防災力の維持・確保を図るため、災害時に最前線で活動を行う消防団員の報酬額を引き上げます。

○地域住民が休日や夜間においてもAED（自動体外式除細動器）を活用した救命活動ができるよう、市内18か所の警察施設にAEDを設置します。

○大地震や局地的豪雨等の自然災害に備えるため、ため池ハザードマップの作成を推進するとともに、大阪府と連携して、農業用水路等の改修に取り組みます。

4. 支えあい・協働の促進

(みんなで取り組む連携・協働のまちづくり)

○地域づくりに精通したコーディネーターを活用し、住民が自ら地域福祉課題の解決に向けて話し合う協議の場の充実を図ります。

○地域住民の見守りや相談役、支援機関との橋渡しを担う民生委員・児童委員の活動を補佐する民生委員協力員制度を創設します。

○地域の認知症に関する事業やネットワークづくりを担う認知症地域支援推進員を増員し、認知症高齢者や家族等の意向に沿った支援体制の構築を推進します。

(多様性を認め合う人権尊重のまちづくり)

○誰もが自分らしく生きる社会の実現をめざして、大阪府パートナーシップ宣誓証明制度を活用した取組みを推進するとともに、普及啓発に取り組みます。

5. 都市経営の促進

(既存ストックの適正管理の促進)

- 富秋中学校区等まちづくり事業について、魅力あるまちづくりの実現に向け、官民連携手法により、効果的・効率的に事業を推進するための事業者選定に着手します。
- 北西部地域における公共施設の機能集約と管理面積の縮減を図るため、庁舎第1分館（旧市立病院南館）に、保健センターや教育センター等を集約する改修工事の設計に取り組みます。
- 街路灯及び公園灯について、環境負荷の低減及び維持管理コストの縮減を図るため、E S C O事業を活用してL E D照明に交換するとともに、維持管理業務を委託します。
- 「教育施設等長寿命化計画」に基づき、北池田中学校の大規模改修に係る設計を行います。

(市民の信頼に応え、都市経営を支える行財政運営)

- 外国人市民が安心して生活できるように、災害情報をはじめ各種行政情報を発信する「いずみメール」の多言語化に取り組みます。
- 水道事業の経営基盤・技術基盤の強化を図るため、令和6年度の大阪広域水道企業団との統合に向けて、経営シミュレーションの策定や施設の集約化等の検討、協議を行います。

《 結びに 》

以上が、令和4年度市政運営方針でございます。

孔子の説く論語で、「之を知る者は、之を好む者に如かず、之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」という言葉があります。これは「知る者より好んでやる者、好んでやる者より楽しんでやる者の方が上達する」という学問に関する教えで、「知る・好む・楽しむ」という3段階の発展を表しています。さらに論語には、「芸に遊ぶ」とあり、これを仕事に置き換えると、「仕事に遊ぶ」となりますが、仕事に熱中して、遊ぶような感覚を持つことができれば、どのような困難な仕事でも乗り越えることができると思います。

令和4年度は、本市の未来を創造する礎となる新庁舎がグランドオープンするとともに、和泉市版の『人事制度改革』や『教育改革』、和泉創発プランの改訂に取り組むなど、和泉市の将来に向けた非常に重要な年となります。「之を楽しむ者は、之を遊ぶ者に如かず」というゆとりとダイナミズムを持ち、「和泉発日本へ」という施策を打ち出していくため、職員とともに全身全霊で市政運営に取り組んでまいりますので、なにとぞ議員並びに市民皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。